

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子供デイサービスみらくる			
○保護者評価実施期間	2025年1月21日		～	2025年2月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28人	(回答者数)	21人
○従業者評価実施期間	2025年1月21日		～	2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数)	10人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者が安心して療育活動や遊びをして、楽しい居場所となっていること。	利用者への言葉かけや対応は、笑顔で敬意を持った肯定的表現で行っている。	楽しく過ごせるような遊びの提供の更なる充実へ取り組んでいる。保護者から、要望が発信しやすいようにすること。
2	療育として、ビジョントレーニングを実施して、“見る力”の向上を図っている。	毎回行うことで効果が得られるようにしている。	ビジョントレーニングを遊びの中にも取り入れて、効果が高まるようにする。
3	支援にブレがないように、支援力の向上を図り、統一した支援となるようにしている。	研修やミーティングを行って、こども本意を意識した支援力を培っている。	新人職員にも分かり易い支援マニュアルやいつでも確認できる映像の提供を考えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の人との交流など、外部連携の機会に乏しい。	地域の人の発達障害への理解を得る働きかけが必要である。外部講師の招へいができるかが課題である。	長期的に計画を立案し、協力者や理解者に参加してもらう工夫が必要である。
2	広いスペースを使った身体運動を行うことが難しいため、活発な利用者には物足りないことがある。	部屋を目的別に分けているために、常時身体活動ができる場を設けられない。	来年度より、敷地内に身体運動のできる場所を確保し、運用をする予定である。
3	お出かけや地域交流の場所を開拓し、体験の機会を持てるようにする。	支援時間内に体験できる施設が限定される。	送迎時間の調整や安全に配慮した企画を立案する必要がある。